

Brown Bag Seminar

No. 045

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022 4.13 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_nwZcHdkOT_a7_BwWOJHAeA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

未来に広がる 有機光エレクトロニクス

司会 : Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)



安達 千波矢 教授

九州大学工学研究院応用化学部門



プラスチック（有機化合物）は、通常、電気を流さない絶縁体としての性質を示します。しかし、0.1 ミクロンの超薄膜を形成することで電流を流すことができ、さらに、通電した電流をほぼ 100%の量子効率で光（フォトン）に変換することができるようになりました。これが有機 EL (OLED) です。講演は、OLEDの黎明期から現在までの展開、そして、未来の有機光エレクトロニクスの可能性についてお話致します。

安達教授は1991年九州大学大学院総合理工学研究科博士課程修了後、(株)リコー化成成品技術研究所、信州大学繊維学部機能高分子学科、プリンストン大学 Center for Photonics and Optoelectronic Materials (POEM)、千歳科学技術大学光科学部物質光科学科を経て、2005年に九州大学未来化学創造センター教授に着任し、2010年より同大学工学研究院教授、最先端有機光エレクトロニクス研究センター (OPERA) 長を兼務し、現在に至ります。安達教授は、OLEDの科学技術を軸に、有機トランジスタ、有機太陽電池、有機半導体レーザーなどの有機系デバイスの材料設計・合成からデバイス物理・光物性の解明まで包括的に学理の深化と産業化の両面を目指して研究開発に取り組んでいます。

Key Words

有機光エレクトロニクス
OLED
有機 EL